

2011.12.16：平成23年第4回定例会（第3日） 本文

○田中しゅんすけ議員　ただいまから、自由民主党議員団を代表いたしまして、陳情第42号「日大光が丘病院存続を求める意見書提出に関する陳情」を、不採択とする委員会決定に賛成の立場から討論を行います。

練馬区は、学校法人日本大学から本年7月に、平成24年3月31日をもって、日本大学医学部付属練馬光が丘病院の運営から撤退するとの申し出を受けました。その後、区民が安心して地域医療を受けられる体制を継続するため、病院の新たな運営主体の選定を始め、9月に「公益法人 地域医療振興協会」に決定いたしました。

日大光が丘病院は、本区と隣接しており、特に赤塚、成増地区の区民が利用していることは十分認識しておりますが、後継運営主体の地域医療振興協会は、都内では東京北社会病院や台東区立台東病院を運営しており、いずれの病院も地域の医療機関や介護、福祉施設、行政と連携し、地域に親しまれる病院を目指しており、評判もよいと聞いております。

現在は、練馬区・地域医療振興協会及び日本大学との三者で引き継ぎに関する協議を始め、また、練馬区と地域医療振興協会との間で、既に平成24年4月1日から、日大光が丘病院の新たな運営主体として、新病院の設置及び運営に関する基本事項の覚書を締結しております。

さらに、練馬区議会は、地域医療の確保と充実を求める決議をしており、その中で、「速やかに後継医療機関を決定し、区と後継医療機関及び日本大学との間で、円滑な引き継ぎを行い、地域医療の確保・充実に全力で取り組み、今後、地域医療計画策定に十分配慮し、推進されるよう、強く求める。」と表明しております。

以上のように、練馬区は、来年4月から地域医療の空白をつくり、区民に迷惑をかけることのないように、努力しているところであります。したがって、練馬区議会の決議もされている中、本区から日大光が丘病院の存続を求める意見書を提出することは、行うべきではないと考えます。

以上の理由により、陳情第42号「日大光が丘病院存続を求める意見書提出に関する陳情」を、不採択とする委員会決定に賛意を表明いたしまして、自由民主党議員団としての賛成討論といたします。（拍手する人あり）